



ホテルでペットボトルキャップ回収、約1年間で27万個 再資源化、そして世界の子どもたち314人にワクチンを

株式会社ナゴヤキャッスルが運営する2つのホテル、ホテルナゴヤキャッスル（名古屋市西区樋の口町3-19、総支配人・北村 勉）とキャッスルプラザ（名古屋市中村区名駅4丁目3-25、総支配人・加藤吉克）では、環境と社会への貢献活動の一環としてペットボトルキャップの回収・リサイクルに取り組んでいます。この活動は2009年にスタートし10年間の累計数は260万個を超えました。

今回は昨年約1年間で回収した約27万個を、下記の日程で市内の回収事業者様に運び、ワクチンの寄付につなげます。

■ペットボトルキャップ寄贈の概要

日時：2020年2月18日（火）14:30～

場所：〔回収事業者〕

株式会社エコ・ポリス

名古屋市西区あし原町7番

TEL：052-501-7002

寄贈者：株式会社ナゴヤキャッスル

ホテルナゴヤキャッスル

総支配人 北村 勉

キャッスルプラザ

総支配人 加藤吉克



寄付先：認定 NPO 法人

世界の子どもにワクチンを 日本委員会（JCV）

会長 細川佳代子

内容：ペットボトルキャップ 計 270,320 個

⇒ワクチンの寄付 314 人分

※キャップ 860 個(2kg) = ポリオワクチン 1 人分相当

⇒再資源化による CO2 削減量 1,980kg

※キャップを焼却した場合に出る CO2 量 430 個=3,150g



昨年の寄贈の様子

●10年間の累計数（現在の計算式による）

キャップ ⇒ 2,658,590 個

ワクチン寄付 ⇒ 3,091 人分

CO2 削減量 ⇒ 19,476 kg

■キャップのワクチンへの寄付の流れ

ホテルで集めたキャップは回収事業者に引き渡され、回収事業者でリサイクル素材に再資源化されます。

再資源化で得た売却益が「認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」に寄付され、ユニセフと連携し途上国の子どもたちにワクチンが送られます。

*ワクチンがないために1日4,000人の子どもが命を落としています。



©JCV

<報道関係者からのお問い合わせ先>

株式会社ナゴヤキャッスル 経営企画室 広報グループ

TEL：052-521-2121(代表)

FAX：052-528-1085

E-mail：koho@castle.co.jp